

# 平成29年度予算編成方針について

## 1 予算編成における基本方針について

未来に向けて本県が発展を続け、県民が希望を持てる社会を創るためには、時代の潮流を的確に捉え、着実に挑戦を続けていく必要がある。そのため、以下のとおり基本方針を定め、平成29年度の予算を編成していく。

### 【基本方針】

#### 1 「希望・活躍・うるおいの埼玉」への着実な一歩

次期5か年計画（案）に沿って、11の挑戦をはじめとした各分野57の施策を着実に実行する。

#### 2 未来のための選択と集中

未来を見据え、真に必要なかつ本質をとらえた事業を選択して重点的に実施する。

#### 3 財政規律の確保

持続可能な財政運営を行うため可能な限りの財源を確保する。また、県債については残高を適切に管理することで後年度の財政負担に留意しつつ、必要な事業には効果的に活用していく。

<b>2 平成29年度収支不足額（見込み）</b>	<b>1,065 億円</b>
（28年度予算編成方針策定時（同時点）	1,053 億円）

- ◆ 歳入面では、緩やかな景気回復の影響などにより、県税収入等に一定の増加が見込まれるものの、政府の「経済・財政再生計画」において地方の一般財源の総額は27年度と実質的に同水準とされており、財源の確保は予断を許さない状況にある。
- ◆ 一方、歳出面では、高齢化等に伴う社会保障関連経費など義務的経費の増加が避けられず、財政状況は依然として厳しい状況が続いている。
- ◆ 今回の収支試算は、歳入、歳出とも一定の前提に基づいて推計したものであり、最終的な予算の姿となるものではない。